



修猷館高等学校

～生徒がICTを活用することによる
学びの変容～

実践

各教室

➤ 教室ICT機器の配備

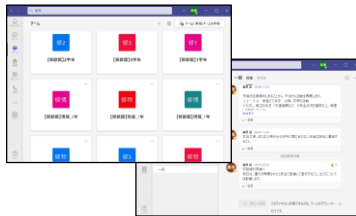
全教室に、PC、電子黒板機能付きプロジェクターに加え、高音質のアンブと外付けスピーカー、HDMIケーブルとUSB-C変換アダプタを配備。教室での、より高品質の視聴体験やChromebookによる個人発表などが可能となった。



ホームルーム

➤ Microsoft Teamsの活用

各クラス担任と生徒がチーム構成されており、欠席時の相互連絡、教科からの課題配布、個別相談等に活用されている。



総合的な探究の時間

➤ 課題研究

総合的な探究の時間で、約半年間にわたって実施する「課題研究」では、最後の全体発表会へ向けて、多くの生徒がChromebookやWindows PC等を活用している。ICT機器を活用することで研究内容を効果的に提示することができる上、複数名からなる班での発表準備を協働的、効率的に進めている。



教科

➤ 論理的・批判的思考力の育成

選び抜いた教材、十分に練った授業の中で、論理的思考力・科学的思考力・批判的思考力・コミュニケーション能力などを最大限に引き出している。

➤ 主体的・対話的・深い学びの実現

予習・復習、教え合いなど、自ら学び自ら考える態度の醸成を図ることで、将来にわたって学び続ける能力を育成している。

➤ 1人1台端末の活用

- ・ 生徒の理解度や学ぶスピードに応じて個別学習を行うツールとして利用。
 - ・ 英語の発音学習やディクテーションを個別に行うためのツールとして利用。
 - ・ その他多くの教科で、調べ学習や発表資料作成等には日常的に活用している。
- (写真左2枚：iPadやプロジェクタを用いたジグソー学習/写真右：グループでのChromebookを使用した資料作成)



特色ある学び

自治的活動

様々な場面において生徒自身による企画・運営を行い、経験を通じて自主的・実践的態度や自己判断能力、自己責任能力等を創出・育成する。
(写真左：iPadを利用した研修先での発表準備)



語りの文化

行事等において生徒自身が胸に秘めた想いを発言する場が設けられ、他人の想いを知り、自身の考えを深め、生徒同士で高め合う。
(写真右：研修旅行中の生徒運営による討論会)

ビジョン

GIGAスクール構想が着実に進行していく中で、生徒がICTを活用する場面が日常的なものになりつつある。本校では、生徒自らが、深い教養と高い専門性を持ったグローバルリーダーを目指して研究と修養に努めることができるよう、特に、深い学び、ICTを取り入れた新しい学びの実現に向けた組織的な対応に取り組んでいる。